

西伯町・会見町 合併協定書調印式



西伯町・会見町 合併協定調印

2月26日プラザ西伯において
合併協定調印式が行われ、坂本・三鴨両町長と片山知事が
固い握手を交わされました。

西伯町・会見町合併協議会
協議会だより



きずな

両町のきずなを大切に、みんなで合併を進めよう!

西伯町長
坂本 昭文

会見町議会

宇田川

14号

2004年3月

両町合併協定に調印



合併協定調印式挙行

二月二十六日（木）午前十一時より、プラザ西伯大会議室において合併協定調印式が執り行われました。

片山知事、福岡県議会議員、新町名称提案者の方々を来賓として招き、また、両町に関係する誘致企業・各種団体代表者の方々の出席により、総勢百五十名の参加となりました。両町長が協定書に署名・調印を行い、続いて立会人の両町議会議長が署名され、合併協定調印が滞りなく執り行われました。



坂本町長あいさつ
両町は、昭和三十年発足以来、協力しながら住民福祉の向上・農林業の振興に取り組んできた。しかし、地方分権・財政状況等により効率的な行政が求められ、中山間地域を守り、顔の見える身近な合併を選びました。全国に誇れる「南部町」となるよう努めていきたい。

三鴨町長あいさつ
西伯町との合併の必要性を訴え、住民投票では二町合併支持を確認し、顔の見える、温かみのある、質の高い町を作る必要があります。

「南部町になって良かった、今回の合併はいい選択だった」と言える町を、町民の皆さんの力で作り上げることが切に願い、期待しています。

宇田川会見町議会議長祝辞（両町議会代表）
議員の総意として、合併時には議員の在任特例を適用せず、選挙を行うことを決定してきました。それは、旧町間の壁を取り払いたいという思いからでした。中山間地域を取り巻く状況は厳しく、力及ばないことも予想され、ご来賓の皆様にも、南部町に対して両町に倍するご厚情をいただきますようお願いいたします。



片山知事祝辞

政府の言う大きな合併には必ずしも賛成できない。小さな町の合併を考えると、色々な事を克服されて、合併調印にこぎつけられました。是非今後も長所をのびし、短所を克服してほしい。

合併をして希薄になりがちな住民の皆様と、行政との間を近づける努力をしてほしい。また、両町の培ってきた歴史・伝統や行事などを発展させるような町づくりをしてほしい。南部町がいい町になるように信じています。



名称提案者に感謝状贈呈

- 杉本京子（西伯町）
- 宇田 学（会見町）
- 山本貴子（会見町）
- 福田浩二（西伯町）
- 森本雅明（会見町）
- 亀尾 均（西伯町）
- 唯 清規（会見町）
- 佐伯和江（会見町）
- 細田太一（会見町）
- 香川裕平（会見町）
- 山本公子（会見町）
- 中井義宏（会見町）
- 松原和美（西伯町）

以上の十三名が、新町名称「南部町」をご提案いただいた方々です。

この十三名の方々へは感謝状と記念品が贈られることとなり、当日は、出席された七名に坂本会長より贈呈されました。

（敬称略、順不同）



（山本貴子さんへ贈呈）

合併調印式司会を務めていただいた、板持知子さん（会見町浅井在住）。合併協議では、まちづくり委員としても活躍していただきました。



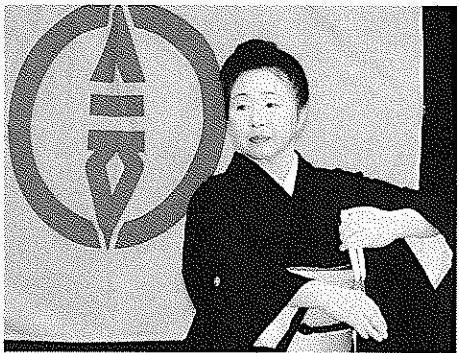
一生の内に、あるかないかの大きな出来事で、特別な気持ちでこの日を迎えました。（ワクワクする気持ちと、緊張とがありました。）
後世に残る歴史的な日に、司会という立場で立ち会うことができ、大変うれしく思っております。
参加者の皆様も、熱心に話を聞いたり、じっくりと様子を見守っておられたことなど、新しい町への期待感が感じられました。カメラの多さも、それを物語っていたように思います。
新町発足にあたっては、どのような町にしていきたいのか、町民一人ひとりが確かなビジョンを持ち、実現に向けて進んでいくことを望んでいます。

アトラクション

日本舞踊宗家藤間流

西伯町法勝寺在住の藤間美香様は、四歳から日本舞踊を志し、三十歳のとき日本で最も伝統のある宗家藤間流師範の名執となりました。今回は、日本舞踊宗家藤間流、長唄「七福神」をご披露いただきました。

限られた時間の中ではありましたが熱演していただき、日本のよき伝統に触れることができました。大変ありがとうございました。



福岡県議会議員祝辞

今日までの大変なご苦労に敬意を表します。高齢の人が、通学中の生徒に声をかけ、また、子供達もそれに大声で答えていた。こんな忘れられない光景があります。

私たちの住む町は、いつまで経ってもこういう町であってほしい。こういう町を作ることが私たちの責務だと思っています。

南部町が、町民の声を吸い上げ、そういう町づくりをしていくよう努力したい。ここに嫁いで良かったといえる町になるよう、みんなで頑張りましょう。



伊勢人舞楽

会見町天萬在住の加藤菊太夫様率います伊勢大神楽講社の皆様にご披露いただきました。

伊勢大神楽は、昭和五十六年には国の重要無形民俗文化財に指定され、三重県のみならず西日本各地に伝承されています。

今回は、数ある舞の内「来舞」、「魁曲」をご披露いただきました。勇壮な大神楽により、式典を盛り上げていただき、ありがとうございました。

福祉センター管理はそのまま社協に!

第二十三回協議会開催

二月二十五日(水)午前九時より、プラザ西伯大会議室において、第二十三回協議会が開催されました。



福祉センター管理は継続

福祉センター管理委託は、両町の制度を継続する。デイサービスの施設の使用料等は、新町において調整する。また、会見町のみ実施している軽度生活援助事業は、会見町の例により実施していく決定を行いました。

隣保館・児童館事業は継続

隣保館事業の学習・研修活動は継続し、内容等は新町で調整する。また、会見町のみ実施している児童館事業については、会見地区は継続し、西伯地区については、新町で調整する決定を行いました。

広域連合・一部事務組合は現行どおり

現在両町が共同で行っている事務処理について、他の組織に統合されるもの等を除き、現行どおりとする決定を行いました。

両町に共通の団体は統一する

交通安全母の会連絡協議会、男女共同参画推進会議等、両町に共通している団体は、原則として新町発足時に統合する。新町発足時に統合できない団体は、可能な限り早期に統合する決定を行いました。

地方債・債務負担行為はそのまま引き継ぐ

両町の地方債残高・債務負担行為支見込み額を報告し、新町にそのまま引き継ぐ決定をしました。



未協議の補助金・交付金は新町発足後早期に調整

現在まだ協議されていない補助金・交付金については、新町発足後早い時期に整理統合する確認を行いました。

両町の一般職員は新町に引き継ぐ

両町の一般職の職員は、新町の職員として引き継ぐ。また、職員数については、定員管理の適正化に努める等の確認を行いました。

循環バス計画(案)を報告

西伯・会見両町の公共施設等を結ぶ、循環バス路線(案)を報告しました。

バス停・車内での語らい等、地域コミュニティの活性化、自家用車利用削減による地球環境の保全、新町における町民の一体感の醸成を図ることを目的としています。

平成十六年八月一日運行開始を予定としており、西伯町清水川・阿賀・落合・馬佐良・会見町金田・朝金・浅井・天萬・寺内の時計回り、反時計回りを計画しています。

今後の計画の具体的事項はバス対策検討委員会等で検討します。

協議会は傍聴できます



合併協議会は毎月開催しています。会議は公開を原則としており、どなたでも傍聴できます。

当日会場入り口において、会議開始時刻までに受付を行ってください。ただし、会場の都合により入場の人数制限をすることがあります。

協議会開催予定

第二十五回協議会
四月十九日(月)
午後一時三十分から
西伯町役場二階会議室

西伯町・会見町合併協議会だより きずな 2004年3月 14号
発行：西伯町・会見町合併協議会 (TEL 48-3375 FAX 48-3376) 編集：西伯町・会見町合併協議会事務局
ホームページ：http://www.saihaku.net/aimi/
E-mail：otayori@sanmedia.or.jp

西伯町 8,181人(男3,914人 女4,267人) 会見町 4,168人(男1,974人 女2,194人) 平成16年2月29日現在